

講座
14

明治期の短編小説を読みなおす

【定員】 48名 【受講料】 2年会員11,440円 1年会員12,870円 聴講生17,160円

『歴史・文学・人間学』 文学 【時間】 毎回 10時30分～ 12時00分 (計12回)

概要 日本の近代文学史において、多くの読者に読まれて来た短編小説のいくつかを、あらためて21世紀の視点で読みなおし、現代的な読み方の可能性を探っていきます。

回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	4/ 5(水)	川崎市 生涯学習 プラザ	寺田寅彦 『団栗』 (1905.4)	東京大学名誉教授 小森陽一
2	4/26(水)		大塚楠緒子 『上下』 (1906.8)	
3	5/10(水)		正宗白鳥 『塵埃』 (1907.2)	
4	5/24(水)		田山花袋 『一兵卒』 (1908.1)	
5	5/31(水)		徳田秋声 『二老婆』 (1908.4)	
6	6/ 7(水)		小栗風葉 『世間師』 (1908.10)	
7	6/14(水)		島崎藤村 『一夜』 (1909.1)	
8	6/28(水)		永井荷風 『深川の唄』 (1909.2)	
9	7/ 5(水)		中村星湖 『村の西郷』 (1909.8) ・ 近松秋江 『雪の日』 (1910.3)	
10	7/12(水)		志賀直哉 『剃刀』 (1910.6) ・ 小川未明 『薔薇と巫女』 (1911.3)	
11	8/ 2(水)		水上瀧太郎 『山の手の子』 (1911.7)	
12	8/ 9(水)		谷崎潤一郎 『秘密』 (1911.11)	

連絡
事項

講師の都合により、第2回の日程と第12回の日程が変更になりました。
 テキスト：『日本近代短篇小説選』（明治篇 2） 岩波文庫 緑191-2
 各回の作品を事前に読んでご参加いただければ、より深くご理解いただけます。